

要約

スマートフォンやクラウドコンピューティングなどの情報通信技術を活用して高齢者を見守るシステムを開発しました。

研究成果の概要

1. 背景・目的

青森県では全国を上回るペースで高齢化が進んでおり、一人暮らしの高齢者の孤独死などが大きな社会問題となっています。そこで、スマートフォンやクラウドコンピューティングなどの情報通信技術を活用して高齢者を見守るシステムの開発に取り組みました。

2. 内容

- 市販されているタブレットやスマートフォンに専用のプログラムを書き込んで、緊急通報、安否確認、ビデオ通話ができる次世代型福祉安心システムを開発しました。
- 専用の通信回線が不要となる電力線通信を用いて、高齢者が操作しやすく低価格な集合住宅向けの高齢者見守りシステムを開発しました。

3. 活用等

開発したソースプログラムを公開していますので、タブレットやスマートフォンを活用した独自の高齢者見守りシステムを開発できます。



写真1 次世代型福祉安心システム

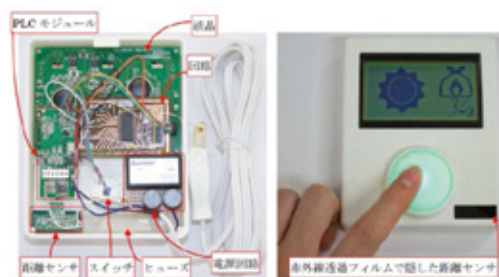


写真2 集合住宅高齢者生活支援システム



写真3 商品化されたシステム
（元気スイッチ365）

関連情報

- 商品化：「元気スイッチ365」（株ワールドコミュニケーションズ、青森市）、「レッツBuy あおもり新商品」として認定（写真3）。
- 独居世帯数（青森県内）の増加（平成17年 41,801世帯（19.2%）⇒平成22年50,537世帯（21.6%））により、高齢者対策としての需要拡大が見込まれます。
- 特許出願：転倒検出装置、転倒検出ユニット、転倒検出システムおよび転倒検出方法（特開2013-003815号）等関連特許4件出願。

工業総合研究所 電子情報技術部

Tel. 017-728-0900

E-mail kou_souken@aomori-itc.or.jp

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

